



ハンガリー政府観光局 ニュース 2009 年 9 月 17 日 No.170

- **ブダペストの新アトラクション、水陸両用バスによるリバーライド運航開始**
- **JATA 旅行博 2009 ヨーロッパ伝統ファッション・フォトセッションとファッションショー**
- **THE ハプスブルク美術展**
- **【コラム】ハンガリー見聞録 (6) その3 列車やバスではできない街めぐり ②**

ブダペストの新アトラクション、水陸両用バスによるリバーライド運航開始

欧州初の水陸両用バスによるブダペスト市内観光ツアー、リバーライド(RiverRide)が 9 月 18 日(金)より運航を開始します。

このリバーライド社の運行する新しいアトラクションは、従来別々であった市内バス観光とドナウ川クルーズの両方を乗り換えなしで一度に味わえるもので、国際的な品質安全認証を受けた水陸両用バスを使用しています。

コースはくさり橋のペスト詰めにあるルーズベルト広場を出発し、国会議事堂、アンドラーシ通り、英雄広場などの陸上コースを巡った後にドナウ川に入り、くさり橋、エリザベート橋を巡り基点へ戻る約 2 時間のコースです。

料金は大人:7,500HUF、子供(6-14 歳):5,000HUF で、運行スケジュールは次の通りです。

4 月から 10 月	11 月から 3 月
9:00	10:00
11:00	12:00
14:00	15:00
16:00	17:00
19:00	-



予約やコースの詳細は、<http://www.riverride.hu/> (英語)から。



JATA 旅行博 2009 ヨーロッパ伝統ファッション・フォトセッションとファッションショー

JATA 世界旅行博 2009 会場では ETC 欧州旅行委員会のヨーロッパ伝統ファッション・フォトセッションとファッションショーが開催されます。カメラを持ってお出かけ下さい。

- 9月18日(金):10:10 から 10:40 までステージ A (業界関係者の日)
- 9月19日(土):14:40 から 15:00 までステージ B
- 9月20日(日):16:10 から 16:30 までステージ B

なお、プレス関係者向けの情報が 5 ページ目にあります。ご参照下さい。



旅行博 2006 の中欧ファッションショーの様相

THE ハプスブルク美術展

既報の通り、9月25日(金)から12月14日(月)まで、東京六本木の国立新美術館で、「THE ハプスブルク」展が開催されます。

日本とオーストリア・ハンガリー二重帝国とが国交を結んでから 140 年を迎えた今年、ウィーン美術史美術館とブダペスト国立西洋美術館からハプスブルク家ゆかりの名品を集め公開します。

東京展の終了後、2010年1月6日(水)から3月14日(日)まで、京都・東山七条の京都国立博物館で展示されます。

【コラム】ハンガリー見聞録 (6)

その3 列車やバスではできない街めぐり ②

ショプロンのツアーインフォームで自転車を借り、チャーリーと名付けてフェルトゥー湖方面目指して出発した私のその後、ショプロン市街を抜ける坂道がきつく、思わずチャーリーから降りて押し歩きもしましたが、郊外へ出ると長い長い下り坂、ペダルから足を離して思わず「ひゃっほう〜!」、暖かい日差しと心地よい風が本当に爽快で、とてもいい気分です。後ろから車もたくさん来ましたが、クラクションで脅されることもなく、だんだん郊外らしい風景に変わる景色を横目に、快調に走ってヨーロッパピクニック公園に着きました。ひたすら静かなところで、かつて歴史の舞台となったのが信じられない感じです。直通的なバスが通っておらず、まさに自転車の独壇場…チャーリーありがとう!

ここからはオーストリア国境を越え、アップダウンを繰り返しながらフェルトゥー湖を目指します。人も車も殆んど通らず、たまにサイクリングの人がすれ違う位の貸し切り道路が丘の上にさしかかる頃、ぶどう畑の向こうに大きく広がる水色のフェルトゥー湖が…! 絶景です。感激です。あとは下り坂、ハンガリーとはひと味違うオーストリアの街並みを見つつ、湖畔に向かいます。



フェルトゥー湖畔で日光浴…穏やかで心地よい日です。

フェルトゥー湖までの道中、鴨?らしき水鳥の親子連れが何組か、よたよた歩いていたり、芦をかき分けて船がゆったり進んでいたり、のんびりした水辺のリゾートといった感じで、湖畔には日光浴をする老夫婦。少し離れてチャーリーを止め、私も一緒に草の上ですわって日光浴。マイペースで休み休み進める自転車のありがたさが身にしみました。

オーストリア側の湖畔からハンガリーの国境を越え、フェルトゥーラーコシュの碎石場までは、途中から道端の家もだんだん少なくなり、ひたすらチャーリーを走らせるばかりでした。だんだん暑くなつてのどが渇き、碎石場のレストランにたどり着いて一気飲みしたソーダヴィーズのおいしかったこと!



オーストリアとハンガリーの国境。ひと気がなくて寂しい感じです。

さて、ショプロンからフェルトゥーラーコシュまでの往路は『長い長い下り坂』でした。つまり『復路は長い長い上り坂』という訳です。朝、「ひゃっほう」と転がり下りた坂を、陽ざしの強い昼下がりに、ふうふう言いつつ上ります。しまいには腿がパンパンに張ってチャーリーのペダルを踏めなくなり、見た感じは大した坂でもないのに、降りて押す始末…。「自転車借りてるのに、押して歩くのなんでだろう…」苦笑です。

これでかなり時間を使ってしまい、予定もおしていたために、24時間料金を払っていながら5時間足らずで旅トモのチャーターとはお別れとなりました。

本当は、ハンガリー側のフェルトウー湖畔も見たかったのですが、国境辺りでかなりくたびれていたのでやむなく断念…。それでも、ショプロンに戻るまで30km近く走ったと思います。

自転車を借りて街めぐり、列車やバスがカバーできない場所へ行くには絶好の手段です。ハンガリーの秘境を訪ねるにも、市街地を見物するにもよいと思います。ただし、「坂」には充分気をつけて、水分補給対策と日焼け対策を忘れずに、できれば日本を発つ前に、予行演習？しておくといいかも…。

筋肉痛と日焼けとともに、チャーターと走った思い出はしっかり心に刻まれました。

では、次回も冬にはできないことについて、お話しさせていただこうと思います。お楽しみに！



お世話になった、ショプロンのツアーインフォーム。ショプロン駅からまっすぐ歩いて5分ぐらいだったでしょうか。